

2019 年度精神部会活動報告

【目的】精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。

【主な活動】

精神部会

●精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議

これまで部会で行ってきた取り組みを継続し、退院支援、住まいの確保支援、地域の資源の充実等の必要な課題検討をし、地域づくりを行っていく。

- ①事例検討…課題となっている「服薬管理」について、病院から「薬の管理を工夫した事例」を出してもらい、共有した。
- ②地域への啓発・研修…地域生活支援拠点等事業検討会と共催し、地域移行した当事者の体験談を伺う研修会「暮らしたい場所で暮らせる地域づくり」を12/20に開催。参加者22名。
- ③ピアサポーター養成についての学習会…長野県ピアサポーターネットワーク事務局である、ポプラの会に講師を依頼し、第3回部会（11/1）で行う予定だったが、台風災害の影響で中止となった。来年度改めて予定する。
- ④地域移行の際のマニュアル作成についての学習会…地域移行の支援を行う際、支援機関の担当者が代わっても変わらない支援ができるよう、マニュアルの作成を目指している。まずは、先行的に行われている高齢分野の「認知症ケアパス」について学習会を行った。ここから精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議も深まるように、グループに分かれ地域の現状を出し合った。今後も地域課題の整理を継続していく。
- ⑤地域資源マップの改訂…昨年度末の情報で改訂した地域資源マップを4月に配布。今後も必要に応じて改訂していく。

地域関係者との面談

●県保健師、市町村保健師、相談員で、精神科病棟に入院されている方、4名の面談を実施。これまで継続してきたことで、部会として面談日を設けなくとも、個別に必要なタイミングで随時面談等行える関係者の連携体制が構築された。これを受け、部会として面談を設定することは一旦終了とする。

仲間としゃべろう会 虹

●当事者の方を中心に、気軽に集まっておしゃべりができる場として月1回開催。来年度も継続する。

【今年度の成果と来年度へ向けて】

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、学習会や地域の現状を出し合うことができた。来年度はさらに地域課題の整理や検討を行い、医療・保健・福祉等関係機関の連携強化、課題解決に向けた協議検討を行い、安心して暮らし続けられる地域になるよう取り組んでいきたい。